

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく見て、よく聞いて、受け止めよう つないで つないで	2	よく見て、よく聞いて、受け止めよう つないで つないで 教科書：P8 ◇相手が言葉や動きをとおして伝えたいことは何か考えながら聞き、相手が伝えたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。 ☆学習用語：連想/ジェスチャー	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(11ア)	◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A11エ)	・相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何か考えながら聞き、自分の考えをもとうとしている。
楽しく声に出して読もう 春のうた/あり	1	楽しく声に出して読もう 春のうた/あり 教科書：P10 □繰り返して音読をしながら、言葉のリズムや響きを味わい、イメージの広がりを楽しむ。	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(11ク)	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C11エ)	・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
一 物語の「ふしぎ」について考えよう 白いぼうし	10	一 物語の「ふしぎ」について考えよう 白いぼうし 教科書：P14 □物語の「ふしぎ」について考え、短い言葉で表し、紹介し合う。 ★ここが大事：できごととのかきかけをとらえる ☆学習用語：文/漢字/物語/場面/気持ち/地の文/様子/会話/登場人物/性格/言葉/ふしぎ/においや香りを表す言葉/できごとのかきかけ	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使われる語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(11オ)	◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C11イ) ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C11エ) 【言語活動例】 ・詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。(C21イ)	・不思議なできごとが起こるきっかけを見ながらすすんで物語の「不思議」に思うところを見つけ、「不思議」について考えたことを短い言葉で表し、伝え合おうとしている。
自分の気持ちに合った言葉で表そう 見つけよう、びつたりの言葉 教科書：P28	4	自分の気持ちに合った言葉で表そう 見つけよう、びつたりの言葉 教科書：P28 ■心が動いたできごとを、短い文章で表現する。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(11ア) ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(112)	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B11ア)	・すすんで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。
漢字の広場①	2	漢字の広場① 漢字の部首 教科書：P30 △漢字の部首について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。 ☆学習用語：あし/かんむり/つくり/部首/へん	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3ウ)		・すすんで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
三年生で学んだ漢字①	2	三年生で学んだ漢字① 教科書：P32 △絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(11エ)	◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B11オ)	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
二 けっかと考察とのつながりをとらえよう 花を見つけた手がかり 教科書：P36	11	二 けっかと考察とのつながりをとらえよう 花を見つけた手がかり 教科書：P36 □「もんとろちょうは何を手がかりに花を見つけるか」という問題を解明していく一つ一つの実験の結果とそこから引き出される結論、実験を繰り返していく考えの筋道などを、叙述をおさえながら読む。	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(11カ) ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心と情報と情報との関係について理解している。(2ア)	◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C11ア) ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C11ウ)	・すすんで、読みやすい文章のポイントについて考えることをとらえて、学習課題にそって、筋道立てて文章を書くようとしている。
読書の広場① 分類をもとに本を見つけてよう	4	読書の広場① 分類をもとに本を見つけてよう 教科書：P46 △学校や地域の図書館へ行き、「日本十進分類法」を利用して本を探して読んだり、図書館の分類の仕方を確かめたりする。 ☆学習用語：巻冊記号/所在記号/請求記号/図書記号/分類記号/ラベルの記号/日本十進分類法	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(21イ) ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(31オ)	◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C11ウ)	・分類を手がかりに目的の本を見つけ、読んでわかったことを記録しようとしている。
言葉の広場① 漢字辞典の使い方	2	言葉の広場① 漢字辞典の使い方 教科書：P50 △漢字辞典の引き方を理解し、活用する。 ☆学習用語：漢字辞典/総画数/漢字/音/訓/部首/画数/音訓索引/総画索引/部首索引/五十音順/片仮名/平仮名/見出し/索引/順序/筆順/漢字の成り立ち	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(21イ) ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3ウ)		・積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
必要なじょうほうを落とさないように聞こう メモの取り方のくふう メモの取り方のくふう	3	必要なじょうほうを落とさないように聞こう メモの取り方のくふう 教科書：P54 ◇メモの取り方を工夫したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。 ☆学習用語：聞き取りメモ/理由/ポスター/縦書き/横書き/節	◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(21イ)	◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A11エ)	・メモの取り方を工夫したり、相手に質問したりしながら、必要な情報について積極的に聞き、自分の考えをもとうとしている。
三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう リーフレットでほうこく 教科書：P58	11	三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう リーフレットでほうこく 教科書：P58 ■リーフレットの特徴を生かした組み立てを考え、見学したことや調べたことを報告する。 ★ここが大事：組み立てをくふうする ☆学習用語：課題/リーフレット/組み立て/資料/説明/効果的に伝える/読み返す/出典/引用/見出し	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(11ウ)	◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせ、学習の見通しに注意したりして、文章の構成を考えている。(B11イ)	・積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

相手やもくてきに 合わせて手紙を書こう いろいろな手紙	2	相手やもくてきに合わせて手紙を書こう 教科書：P64 ■手紙の書き方を知り、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書く。 ☆学習用語：後付け／始めの挨拶／季節の言葉／自己紹介／結びの挨拶	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体の違いに注意しながら書いている。(1)キ	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア	・粘り強くまちがいを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、学習の見直しをもって、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書こうとしている。
言葉の文化① 短歌の世界	4	言葉の文化① 短歌の世界 教科書：P66 △短歌を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア	◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ	・すずんで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見直しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。
漢字の広場② 漢字の音を表す部分	2	漢字の広場② 漢字の音を表す部分 教科書：P72 △形声文字における部首と音符について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。 ☆学習用語：音／部首／音訓索引	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ		・すずんで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題にそって、「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。
都道府県名に用いる漢字	2	都道府県名に用いる漢字 教科書：P74 △都道府県名に用いる漢字などを使って文を書く。 ☆学習用語：都道府県	◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。
三年生で学んだ漢字② 教科書：P76	2	三年生で学んだ漢字② 教科書：P76 △絵を見て想像したことをもとに、三年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ	◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
四 落語を声に出して楽しもう 落語 ぞろぞろ	11	四 落語を声に出して楽しもう 落語 ぞろぞろ 教科書：P78 □落語を読んで見つけたおもしろさが伝わるように、音読したり演じたりして楽しもう。 ★ここが大事：読み方をくふうする ☆学習用語：斬家／落語／落語家／話芸／聞き手／繰返し／せりふ／言葉づかい／音読記号／間／話し手／話し言葉	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク	◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C1)イ ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)カ	・すずんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。
読書の広場② ひろがる読書の世界 教科書：P96	1	読書の広場② ひろがる読書の世界 教科書：P96 △「本について語り合う」、「同じ作者の本を読む」という学習活動を通して、幅広く読書に親しむ。	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ	◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)カ	・読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。
五 話の組み立てを 考えて発表しよう 写真から読み取る 教科書：P98	6	五 話の組み立てを 考えて発表しよう 写真から読み取る 教科書：P98 ◇伝えたいことをはっきりさせて、理由や事例などをあげながら筋道を立てて話す。 ★ここが大事：写真から読み取ったことを話す	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A1)イ	・粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見直しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。
六 集めたざいり りようでわかりやすく 伝えよう	5	六 集めたざいり りようでわかりやすく 伝えよう 教科書：P102 ■割り付けを工夫して、わかりやすい紙面の新聞を作る。 ★ここが大事：新聞で伝える ☆学習用語：新聞／見出し／題名／発行日／発行者／トップ記事／割り付け／清書／下書き／読み返す	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア	・粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見直しをもって新聞を作ろうとしている。
漢字の広場③ 送りがなのつけ方	2	漢字の広場③ 送りがなのつけ方 教科書：P106 △送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 ☆学習用語：送り仮名	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ		・すずんで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を正しく使おうとしている。
七 場面の様子を くらべて読み、感想を まとめよう 一つの花 教科書：P110	9	七 場面の様子を くらべて読み、感想を まとめよう 一つの花 教科書：P110 □場面の様子を比べて読み、感想を伝え合う。 ★ここが大事：文章中の大切な言葉について考える ☆学習用語：物語／場面／感想文／題名／比べる／登場人物／あらすじ／戦争の時代を表す言葉・文	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C1)オ	・すずんで場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、今までの学習を生かし、自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。

言葉の広場② 修飾語 教科書：P124	言葉の広場② 修飾語 教科書：P124 2 △文の中での修飾語のはたらきを理解する。 ☆学習用語：修飾語/主語/述語	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ)	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア)	・すすんで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。
八 自由に想像を広げて書こう 作ろう！「ショートショート」 教科書：P126	八 自由に想像を広げて書こう 作ろう！「ショートショート」 教科書：P126 6 ■不思議な言葉を作り、想像を広げて「ショートショート」を書く。 ★ここが大事：不思議な物語を作る ☆学習用語：ショートショート/物語/中心人物/登場人物/場面	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を利用して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ)	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア)	・積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。
言葉の文化② 「月」のつく言葉 教科書：P132	言葉の文化② 「月」のつく言葉 教科書：P132 1 △昔から「月」に対してさまざまな呼称があったことを知り、「月」に関する言葉を集める。	◎長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ)	◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア)	・すすんで「月」に関する言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関する言葉を集めようとしている。
国語の学習 つながる ひろがる	国語の学習 つながる ひろがる 教科書：P134 1 ■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。	◎相手を見て話したり聞いたりして、語の中心や話す場面を意識し、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)	◎「話すこと・聞くこと」において、語の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している。(A1)ウ)	・すすんで語の中心や話す場面を意識し、語の中心や話す場面を工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返り下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。
一 登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう ごんぎつね 教科書：P8	一 登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう ごんぎつね 教科書：P8 9 □登場人物「ごん」の気持ちを詳しく想像して読み、気持ちの変化がわかるように「ごん日記」を書く。 ★ここが大事：情景を読む ☆学習用語：物語/気持ち/場面/始め/日記/題名/言葉/説明する/登場人物/中心人物/情景/情景描写/二つの言葉が組み合わさる	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。(C1)エ)	・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像し、学習課題にそって登場人物になりきって、気持ちの変化がわかるように日記を書こうとしている。
読書の広場③ 「読書発表会」をしよう 教科書：P30	読書の広場③ 「読書発表会」をしよう 教科書：P30 5 △紹介した本を何冊か選び、「読書発表会」を行い、読書の幅を広げる。	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ)	◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C1)カ)	・ブックトークに向けて、すすんで本を集めたり発表内容を考えて話し、粘り強く活動に取り組んでいる。
言葉の広場③ 言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ 教科書：P34	言葉の広場③ 言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ 教科書：P34 4 △言葉や音が表すイメージや、イメージに即した言葉を考えてたりすることによって、言葉の特性について考える。	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア)	◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A1)イ)	・すすんで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づこうとし、学習課題にそって、言葉がもつイメージについて考えようとしている。
二 代わりに気をつけて話し合おう みんなが楽しめる新スポーツ 教科書：P38	二 代わりに気をつけて話し合おう みんなが楽しめる新スポーツ 教科書：P38 9 ◇司会者や発言者などの役割を果たしながら、話し合いの進行に合わせ、互いの考えを伝え合って話し合う。 ★ここが大事：代わりに気をつけて話し合う ☆学習用語：役割/司会/記録係/質問/意見/課題/発言者/提案者/話し合い/メモ/賛成/共通点/反対/説明/理由	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A1)オ)	・積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもつてクラスで話し合おうとしている。
漢字の広場④ いろいろな意味を表す漢字 教科書：P44	漢字の広場④ いろいろな意味を表す漢字 教科書：P44 2 △一つの漢字には、複数の意味がある場合が多いことを理解する。	◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B1)オ)	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を複数の意味について考えようとしている。
三年生で学んだ漢字④ 教科書：P46	三年生で学んだ漢字④ 教科書：P46 2 △絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B1)オ)	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ 教科書：P48	三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ 教科書：P48 9 □ウミガメの産卵や成長を研究する名古屋港水族館の取り組みを時系列にそって読み、興味をもった点から整理して文章を要約する。 ★ここが大事：要約する ☆学習用語：要約/事例	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B1)イ)	・すすんで、本文を読んで自分が興味をもった部分を要約することを通して、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
言葉の広場④ 二つのことがらをつなぐ言葉 教科書：P60	言葉の広場④ 二つのことがらをつなぐ言葉 教科書：P60 2 △二つの事柄をつなぐとき、使う言葉によって内容が大きく変わることを理解し、接続語のはたらきを意識して、正しく使い分ける。 ☆学習用語：ことがら	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ)	◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C1)ウ)	・すすんで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。

<p>四 調べたことをわかりやすく書く クラスの「不思議ずかん」を作ろう 教科書：P62</p>	<p>四 調べたことをわかりやすく書く クラスの「不思議ずかん」を作ろう 教科書：P62</p> <p>■図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。</p> <p>★ここが大事：わかりやすく書く</p> <p>☆学習用語：取材／組み立て／原稿／説明／読み返す／題名／資料／目次／言葉づかい／情報／著作権／メディア／新聞／インターネット／引用／意見／出典</p>	<p>◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方や理解し使っている。(2)イ</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p> <p>◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B1)オ</p>	<p>・積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。</p>
<p>言葉の文化③ 故事成語 教科書：P68</p>	<p>言葉の文化③ 故事成語 教科書：P68</p> <p>△故事成語の意味を知り、友達に紹介するためのカードを作る。</p>	<p>◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p>	<p>・積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。</p>
<p>詩を読もう いろいろな詩／おおきな木 教科書：P74</p>	<p>詩を読もう いろいろな詩／おおきな木 教科書：P74</p> <p>□さまざまな形の作品を読みながら、詩の世界を楽しむ。</p>	<p>◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク</p>	<p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C1)エ</p>	<p>・すすんで、詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。</p>
<p>漢字の広場⑤ 熟語のでき方 教科書：P78</p>	<p>漢字の広場⑤ 熟語のでき方 教科書：P78</p> <p>△二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつながり方を考える。</p> <p>☆学習用語：熟語</p>	<p>◎第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C1)オ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C1)カ</p>	<p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。</p>
<p>五 自分の経験と結びつけて考えたことを伝え合おう くらしを便利にするために 教科書：P82</p>	<p>五 自分の経験と結びつけて考えたことを伝え合おう くらしを便利にするために 教科書：P82</p> <p>□「便利」とはどういうことかを考えながら読み、自分の経験と照らし合わせながら考えをまとめる。</p> <p>★ここが大事：経験と結びつけて読む</p> <p>☆学習用語：引用／具体例</p>	<p>◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解している。(2)ア</p> <p>◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方や理解し使っている。(2)イ</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C1)オ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C1)カ</p>	<p>・積極的に筆者の考えと自分の考えを比べながら読むことを通して、具体的な経験をもとに考えをまとめることの有効性に気づいている。</p>
<p>目で見える言葉で話そう 手話であいさつをしよう 教科書：P92</p>	<p>目で見える言葉で話そう 手話であいさつをしよう 教科書：P92</p> <p>◇声を使わないで考えや思いを伝え合う手話について知り、簡単な挨拶をする。</p>	<p>◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A1)ア</p>	<p>・手話には考えや思いを伝えるはたらかきがあることに気づき、学習課題にそってすすんで手話であいさつをしようとしている。</p>
<p>六 調べてわかったことを発表しよう 「便利」をさがそう 教科書：P94</p>	<p>六 調べてわかったことを発表しよう 「便利」をさがそう 教科書：P94</p> <p>◇調べてわかったことを、相手に伝わるように資料を示したり、話し方を工夫して、発表する。</p>	<p>◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方や理解し使っている。(2)イ</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などを工夫している。(A1)ウ</p>	<p>・身のまわりの「便利」について調べ、わかったことを図などの資料を示しながら、言葉の調子や強弱、問の取り方に気をつけて発表しようとしている。</p>
<p>言葉の広場⑤ 点(・)を打つところ 教科書：P102</p>	<p>言葉の広場⑤ 点(・)を打つところ 教科書：P102</p> <p>△読点のはたらかしを理解して、正しく使い分ける。</p> <p>☆学習用語：読点</p>	<p>◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方や理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ</p> <p>◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などを工夫している。(A1)ウ</p>	<p>・すすんで句読点のはたらかしを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で適切に使おうとしている。</p>
<p>七 伝えたいことをはっきりさせて書く 自分の成長をふり返って 教科書：P104</p>	<p>七 伝えたいことをはっきりさせて書く 自分の成長をふり返って 教科書：P104</p> <p>■様子がわかるように、よりよい表現を選んで書く。</p> <p>★ここが大事：伝わりやすい組み立てで書く／文章を読み返す</p> <p>☆学習用語：組み立て表／会話文／段落／主語／述語</p>	<p>◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方や理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ</p> <p>◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ</p>	<p>◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係を注意したりして、文章の構成を考えている。(B1)イ</p> <p>◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B1)エ</p>	<p>・積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化④ 雪 教科書：P110</p>	<p>言葉の文化④ 雪 教科書：P110</p> <p>△「雪」を扱った言語表現を集める。</p>	<p>◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ</p>	<p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p>	<p>・すすんで、長い間使われてきた「雪」に関する言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け 教科書：P112</p>	<p>漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け 教科書：P112</p> <p>△異字同訓や同音異義語の使い分けについて意識をもって、漢字を読んだり書いたりする。</p> <p>☆学習用語：同じ読み方の漢字／訓読み</p>	<p>◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方や理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ</p>	<p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C1)エ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C1)オ</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C1)エ</p>	<p>・すすんで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で正しく使おうとしている。</p>
<p>八 登場人物のせいかくや気持ちのうつつ変わりを読もう 人形げき 木竜うらし 教科書：P116</p>	<p>八 登場人物のせいかくや気持ちのうつつ変わりを読もう 人形げき 木竜うらし 教科書：P116</p> <p>□登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考えながら読み、考えを伝え合う。</p> <p>★ここが大事：登場人物のせいかくや気持ちの変化をとらえて読む</p> <p>☆学習用語：脚本／ト書き／地の文</p>	<p>◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などに注意して話している。(1)イ</p>	<p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C1)エ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C1)オ</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C1)エ</p>	<p>・積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。</p>
<p>国語の学習 これまで これから 教科書：P142</p>	<p>国語の学習 これまで これから 教科書：P142</p> <p>■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。</p>	<p>◎相手を見て話したり聞いたりして、ともに、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などに注意して話している。(1)イ</p>	<p>◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などを工夫している。(A1)ウ</p> <p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B1)ウ</p>	<p>・すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、一年間の国語の学習を振り返ったり次々への希望を話し合おうとしている。</p>

教科	国語(書写)	学年	第4学年
----	--------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 はじめの学習 ① 毛筆用具の名前と、置き方やあつかい方 ② よいしせいと筆の持ち方 ③ 3年生で学習したこと ■ 点画の種類 ④ あとかたづけ	2	○ 用具の並べ方や扱い方について確かめることができる。 ○ よい姿勢や筆の持ち方について確かめることができる。 ○ 常によい姿勢やよい持ち方を意識して書くことができる。 ○ 3年生で学習したことを確かめることができる。	B 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を理解している。用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方が身についている。 3年生で学習した「筆圧」や「点画の種類」について理解している。	B 用具の扱い方や姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方のよしあしを考えている。筆の穂の柔らかさや筆圧について考えている。	B 用具の扱い方やよい姿勢、筆の持ち方、筆の扱い方を確かめようとしている。他の書写場面でも、よい姿勢やよい持ち方で、筆の柔らかさや筆圧、「点画の種類」を意識して書こうとする意識をもっている。
2 点画の筆使い 『花』	2	○ 点画の筆使いを確かめることができる。 ○ 点画の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 点画の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 点画の筆使いについて理解している。点画の筆使いに気をつけて書いている。	B 点画の筆使いについて考えている。	B 点画の筆使いに気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、点画の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。
3 点画のせし方と間かく	3	○ 点画のせし方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 横画の間かくに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 点画のせし方と横画の間かくを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 点画のせし方と横画の間かくについて理解している。点画のせし方と横画の間かくに気をつけて書いている。	B 点画のせし方と横画の間かくについて考えている。	B 点画のせし方と横画の間かくに気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、点画のせし方と横画の間かくに気をつけて書こうとする意識をもっている。
4 筆順と字形 『左右』	3	○ 筆順と字形の関係を理解することができる。 ○ 筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 筆順と字形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 筆順と字形との関係について理解している。筆順と字形に気をつけて書いている。	B 筆順と字形との関係について考えている。	B 筆順と字形に気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、筆順と字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
〈こう筆の学習〉 筆順と字形	3	○ 筆順の原則を理解することができる。 ○ 筆順に気をつけて、字形を整えて書くことができる。	B 筆順の原則について理解している。筆順と字形に気をつけて書いている。	B 筆順の原則について考えている。	B 筆順と字形に気をつけて、硬筆で書こうとしている。他の書写場面でも、筆順の原則に従って、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
5 ひらがなの筆使い 『はす』	2	○ 「結び」の筆使いを理解することができる。 ○ 「結び」の筆使いや形の違いに気をつけて書くことができる。 ○ 「結び」の形の違いを確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 「結び」の筆使いについて理解している。「結び」の筆使いに気をつけて書いている。	B 「結び」の筆使いについて考えている。	B 「結び」の筆使いに気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、「結び」の字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レット・トライ】 ノート—理科のノート	1	○ 学習内容がわかりやすいノートのまとめ方を理解することができる。 ○ 書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもち、工夫して書こうとすることができる。	B 学習内容がわかりやすいノートのまとめ方を理解している。学習内容が理解しやすいように工夫してノートをまとめている。	B 学習内容が理解しやすいノートのまとめ方について考えている。	B 書写で学習した内容を、他教科での学習に生かしていく意識をもっている。書写以外の学習場面でも、わかりやすい書き表し方を工夫して書こうとしている。
【レット・トライ】 はがき—けい老の日のはがき	1	○ はがきの形式を理解し、相手意識をもって丁寧に書くことができる。 ○ 文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。 ○ 都道府県名の漢字の書き方を確かめることができる。	B 文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。はがきの形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。	B はがきの形式に従って丁寧に書く方法について考えている。	B はがきの形式を理解し、丁寧に書こうとしている。
6 文字の組み立て方(左) 『土地』	2	○ 「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化を理解することができる。 ○ 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 「へん」の幅と点画の形を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 「へん」と「つくり」の幅の違いと点画の形の変化について理解している。「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書いている。	B 「へん」と「つくり」の組み立て方について考えている。	B 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
7 文字の組み立て方(上) 『竹笛』	2	○ 上の部分の高さと形の変化を理解することができる。 ○ 上の部分と下の部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○ 上の部分と下の部分の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 上の部分と下の部分の高さの違いと点画の形の変化について理解している。上の部分と下の部分の組み立て方に気をつけて書いている。	B 上下の組み立て方について考えている。	B 「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書こうとしている。他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとする意識をもっている。
文字の組み立て方(選たく) ① 左右の組み立て方 『木材』 ② 上下の組み立て方 『岩山』	3	○ 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択し、めあてに気をつけて書くことができる。 ○ 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解して、字形を整えて書くことができる。 ○ 左右・上下の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B 左右・上下の組み立て方(幅や高さのとり方)を理解している。左右・上下の組み立て方に気をつけて書いている。	B 自分のめあてに適した教材を選択している。幅や高さ、形がどう変わっているか、考えている。	B 自分のめあてを設定し、めあてに合わせた教材を選択しようとしている。他の文字や硬筆でも、自分の課題をもち、組み立て方に気をつけて書こうとしている。
〈こう筆の学習〉 文字の組み立て方	2	○ 左右・上下の組み立て方と点画の変化について理解することができる。 ○ 左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。 ○ 左右・上下の組み立て方で構成される漢字の、点画の変化を見つめる活動について、意欲的に取り組むことができる。	B 左右の幅の違い、上下の高さの違いと点画の変化について理解している。左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書いている。	B 左右の幅、上下の高さ、点画の変化について考えている。	B 左右・上下の組み立て方のある漢字を書く活動に取り組もうとしている。他の文字でも左右・上下の組み立て方と点画の変化に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レット・トライ】 文化 — 短歌		○ 文字の大きさと配列について理解することができる。 ○ 文字の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。	B 文字の大きさと配列について理解している。文字の大きさと配列に気をつけて書いている。	B 文字の大きさと配列について考えている。	B 文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。書写以外の学習場面でも、文字の大きさと配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。

書きぞめ	5	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができます。 ○文字の大きさや中心に気をつけて、字形を整えて書くことができる。	B:書きぞめの姿勢や持ち方、筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の大きさに気をつけて書いている。	B:書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。	B:書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 さまざまなかるた		○さまざまなかるたについて知り、文字に対する興味・関心を高めることができる。			B:さまざまなかるたについて調べようとしている。
【レッツ・トライ】 かるた一ぼうさいかるたを作る	1	○文字の大きさ、配列に気をつけて、「ぼうさいかるた」の文字を書くことができる。 ○用紙全体に対する文字の大きさや配列を考えて書くことができる。	B:読みやすい文字の大きさや配列を理解している。 文字の大きさや配列に気をつけて「ぼうさいかるた」を書いている。	B:読みやすい文字の大きさや配列について考えている。	B:文字の大きさと配列に気をつけて書こうとしている。 書写以外の学習場面でも、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意識をもっている。
8 学習のまとめ 『平和』	4	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、めあてに気をつけて書くことができる。 ○学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	B:これまで学習した字形の整え方について理解している。 これまで学習したことを生かして、字形の整え方に気をつけて書いている。	B:これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。	B:これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知っておこう】 手紙一学習発表会の案内の手紙		○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	B:手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書いている。		
【書いて 伝え合おう】 新聞一学級新聞を作ろう		○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる	B:読みやすく書くための基準について理解している。 文字の大きさや配列に注意したり、筆記具を工夫したりしている。	B:読みやすく書くための基準を意識して、新聞を見直している。	B:書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。 他の学習場面でも、読みやすく書くために工夫していく意欲をもっている。
【知っておこう】 メモ一ダム見学での聞き取りメモ		○メモの取り方を理解し、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	B:メモの取り方について理解している。		B:他教科での学習や日常生活に生かしていく意欲をもっている。
【漢字表】 四年生で学習する漢字 三年生で学習した漢字		○3年生で学習した字形の整え方や筆順、文字の組み立て方などを確かめることができる。 ○4年生で学習した字形の整え方や筆順、文字の組み立て方などを確かめることができる。 ○巻末漢字表を活用した漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順をまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。	B:同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けをしている。	B:これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて考えている。	B:巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて、関心を高めている。 書写以外の学習でも、筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【ひらがな表】 【かたかな表】 【筆記具の持ちよう】		○平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめることができる。	B:平仮名、片仮名の筆順や字形について理解している。		B:平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。

教科		社会		第4学年	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	単元のまとまりの評価規準	主体的に学習に取り組む態度
1 わたしらの東京都の様子(都道府県の様子)	8	東京都の様子について、我が国における東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主要都市の位置などに着目して、地図帳や各種資料などを用いて調べ、白地図などにもとめて、東京都の位置や全体の地形、主な産業、交通網や都市の位置などの情報を総合して、東京都の地理的・環境的特徴を考え、表現することを通して、東京都の地理的概要及び、47都道府県の名称と位置を理解できるようにする。東京都の様子について主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、東京都に対する関心を高める。	①国内における東京都の位置、隣接する県との位置関係、都全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などについて、地図帳や各種資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、東京都の様子について理解している。②調べたことを白地図などにもとめて、東京都の地理的概要及び、47都道府県の名称と位置を理解している。	①東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主要都市の位置などに着目して、問いや見出し、東京都の様子について考え、表現している。②日本全体における東京都の位置、都全体の地形の様子、産業の分布や交通網の広がりなどを関連付け、総合して東京都の地理的概要の特徴を考え、表現している。	①東京都の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返りたりして、学習問題を追究・解決しようとしている。
1 水はどこから	10	飲料水は、計画的に作り出され、他地域の協力を得て確保されていることについて調べ、飲料水が乾いた国土までの経路や水道局の仕事とそれに携わる人々の工夫や努力を理解して、すずんで水を大切にしようとする態度を養う。	①飲料水の供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などについて、見学・調査や地図などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための取組の様子を理解している。②調べたことをポスターやパンフレット、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。	①飲料水の供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して問いや見出し、飲料水の供給のための事業の様子について考え、表現している。②自然災害が発生した際の被害状況と災害防止策を関連付け、総合して飲料水の供給が果たす役割を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして適切に表現している。	①人々の健康や生活環境を支える事業について、予想や学習計画を立てたり、見通ししたりして、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。
2 ごみのしりとりと利用	10	ごみを処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料を活用して調べたりしてまとめる。また、それらの事業が果たす役割を考え、表現することを通して、ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることを理解できるようにする。	①廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などについて、調査・見学したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物処理に関する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることを理解している。	①廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などに着目して、問いや見出し、廃棄物処理のための事業の様子について考え、表現している。②廃棄物処理の仕組みや再利用の様子と地域の生活環境の維持・向上を関連付け、その事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に、廃棄物の減量や資源の再利用に協力しようとしている。	①廃棄物処理の事業について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返りたりして、学習問題を追究・解決しようとしている。②学習したことを基に地域の人の健康や生活環境を守る大切さに気付く。地域社会の一員として、廃棄物の減量や資源の再利用に協力しようとしている。
1 水害からくらしを守る	12	自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり、地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人は、自然災害に対し、様々な協力を果たして対応してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自然災害から地質の安全を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して聞き取り調査したり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。②聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、年表などにもとめて、地域の関係機関や人は、自然災害に対し、様々な協力を果たして対応してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して問いや見出し、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。②自然災害が発生した際の被害状況と災害防止策を関連付け、総合して災害から人々を守る活動と関係付け、自分たちができることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習問題を追究し、解決しようとしている。②よりよい社会を考え、学習したことを基に、地域社会の一員として、自身の安全を守る取組や、関係機関や地域の人々への協力を考えようとしている。
1 受けつがれる祭りー武蔵野中くらみ祭	8	東京都で受けつがれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして年表にもとめて、都内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、東京都の文化財や年中行事は地域の人が受け継いできたことや、地域の発展や人々の願いが込められていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、自分たちができることなどを考えるなど、地域に寄与する誇りを持ち、地域の伝統や文化の継承に協力しようとする態度を養う。	①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。②調べたことを年表や図表、文などにまとめ、歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。③調べたことを年表や図表、文などにまとめ、歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。④調べたことを年表や図表、文などにまとめ、歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。	①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いや見出し、東京都内の文化財や年中行事の様子について考え、表現している。②文化財や年中行事を保存したり、受け継いでいる人々の工夫や努力と、地域の人の願いを関連付け、文化財や年中行事を受け継ぎ保存していることの意味を考えたり、自分たちができることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①文化財や年中行事について、予想、学習問題を追究し、解決しようとしている。②よりよい社会を考え、学習したことを基に、文化財や年中行事を継承していくために、東京市民の一員として自分たちにできることを考えようとしている。
2 青山土と荒川	11	洪水に悩まされた地域の人の生活や荒川放水路建設に尽くした先人(青山土)の向上について考えようとする。	①地域の発展に尽くした先人の働きについて、文書資料、地図、写真などから必要な情報を読み取り、まとめたことについて、①地域の人の生活の変化や向上は先人の努力によるものであることを理解している。	①地域の発展に尽くした先人の働きと生活の向上について考え、年表や写真・絵コンテ、学習感想などに適切に表現している。	①地域の発展に尽くした先人の働きに関心を持ち、進んで調べたり、地域のより良い発展を考えたりしている。
1 染め物のさかんな新宿区	8	①染め物産業の盛んな新宿区の様子について、盛んな地域の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料を活用して調べ、白地図などにもとめて、地域の様子や、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に伝統的な産業を大切にしようとする態度を養う。	①新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、染め物産業が盛んな新宿区の様子や、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、染め物産業に携わる人々が協力し、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解している。	①新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いや見出し、染め物産業が盛んな新宿区の様子について考え、表現している。②特色ある地域の人の活動や産業や地域の発展と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、染め物産業が盛んな新宿区の特徴を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	①染め物産業の盛んな新宿区について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返りたりして、学習問題を追究・解決しようとしている。②特色ある地域の人の活動や産業や地域の発展を生かした地域産業について、東京都民の一員として、どのようににかかわっていくべきか考えようとしている。
2 世界とつながる大田区	10	①国際理解に取り組んでいる大田区について、位置や、国際交流活動及びその背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料、ホームページなどを用いて調べ、文脈に記述したり図表などにもとめて地域の様子や、特色あるまちづくりや国際交流の発展に努めていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、東京都の外国人と共に生活していくために自分たちができることを考えようとする態度を養う。	①大田区の位置、国際交流活動及びその背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、国際交流に取り組んでいる大田区の様子を理解している。②調べたことを文脈に記述したり、図表などにもとめて、大田区では、人が協力し国際都市をめざしたまちづくりをしていることを理解している。	①大田区の位置や国際交流活動の背景、人々の協力関係などに着目して問いや見出し、大田区の様子について考え、表現している。②地域での活動状況と人々の取組を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、国際交流に取り組んでいる大田区の特徴を考え、適切に表現している。	
3 豊かな自然環境を守り生かす小笠原村	10	①豊かな自然環境を守り生かしている小笠原村について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料で調べ、白地図などにもとめて、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにする。主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、東京都に対する誇りや愛情を持ち、東京都民の一員として豊かな自然を大切にしようとする態度を養う。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、小笠原村の様子を理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いや見出し、小笠原村の様子について考え、表現している。②小笠原村の人々の活動や産業と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、小笠原村の位置や自然環境、特色を考え、適切に表現している。	①小笠原村の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返りたりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。②小笠原村の自然環境の素晴らしさやそれを活かすことの大切さについて考えようとしている。

教科	算数	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう！/ペントミノ	2	①2算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・問題解決の進め方を理解している。	・正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。	・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうたりしている。
1.大きな数	9	○億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさを比べ方や表し方、計算のかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(7)、A(1)イ(7)、内(1)ロ】	・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさを比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
2.わり算の筆算	9	○除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができる。戻りや式などを用いて計算のかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(1)イ(ウ)、A(3)イ(7)、内(2)】	・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできること、その筆算のかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のかたを考えたり計算に関し成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
3.折れ線グラフ	9	○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの傾向に着目してグラフ的に表現したり、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(7)、B(1)イ(7)、内(1)ロ】	・折れ線グラフの特徴について理解し、表したり読み取ったりすることができる。<知・技>	・目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。<思・判・表>	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
油分け	1	①筋道を立てて考える力を伸ばす。		・7Lや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を、筋道を立てて考えている。	
4.角	8	○角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができる。また、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察を生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(5)ア(1)イ、B(5)イ(7)】	・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。<知・技>	・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察を生かしたりしている。<思・判・表>	・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
5.2けたの数のわり算	14	○除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができる。戻りや式などを用いて計算のかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(1)イ(ウ)(ロ)、A(3)イ(7)、内(4)】	・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできること、その筆算のかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のかたを考えたり計算に関し成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
6.がい数	9	○概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四捨計算の結果の見積もりをたりすることができる。また、目的に合った数の処理のかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(1)イ(ウ)、A(2)イ(7)】	・概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四捨計算の結果の見積もりをたりすることができる。<知・技>	・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。<思・判・表>	・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
こわれた電たく	1	①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。		・18×2と答えが同じになる式を、乗法に関して成り立つ性質を用いて考えている。	
7.垂直、平行と四角形	14	○直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり作図したりすることができる。また、その過程を振り返り、図形の性質に着目して問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(7)イ、B(1)イ(7)、内(1)ロ】	・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。<知・技>	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。<思・判・表>	・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
8.式と計算	7	○数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができる。また、式を用いて問題を解決したり、式の意味を多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(1)イ(ウ)、A(6)イ(7)、A(7)ア(7)、A(7)イ(7)、内(6)】	・四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあはめたり調べたりすることができる。<知・技>	・問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を筋道に、また一般的に表現したり、式の意味を多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。<思・判・表>	・数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
9.面積	12	○平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(1)イ、B(4)ア(1)イ、B(4)イ(7)、内(6)】	・面積の単位「cm ² 、m ² 、k ² 、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。<知・技>	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位をこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>	・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
つないだ輪を切って	1	①つないだ輪を切ることができる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。		・つないだ輪を切ることができる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときどのような形ができるかを図形の性質に着目して考えている。	
10.整理のしかた	6	○データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができる。また、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(7)、D(1)イ(7)、内(9)】	・データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。<知・技>	・目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。<思・判・表>	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
11.くらべ方	5	○倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合において、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、戻りや式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(1)イ、B(2)ア(7)、B(2)イ(7)】	・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合において、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。<知・技>	・日常の事象における数量の関係に着目し、戻りや式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方を考察している。<思・判・表>	・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>
12.小数のしくみとたし算、ひき算	13	○小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、戻りや式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(1)イ(ウ)、A(4)イ(7)】	・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のかたを考えるとき、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>

13変わり方	5	○伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができることに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、問題の考えのよさにつき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、G(1)イ(ア)】	・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。<知・技>	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。<思・判・表>	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていた。<態度>
14.そろばん	2	○そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに基づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)、A(8)イ(ア)】	・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考察している。<思・判・表>	・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに基づき学習したことを学習に活用しようとしていた。<態度>
方眼で九九を考えよう	1	①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。		・分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考察している。	
15.小数と整数のかかけ算、わり算	15	○小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考察する力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)、A(4)イ(ア)(イ)(ウ)、A(4)イ(ウ)(ウ)(ウ)】	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。<知・技>	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていた。<態度>
16.立体	9	○直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(イ)(ウ)、B(2)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)】	・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を制作することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。<知・技>	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。<思・判・表>	・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに基づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていた。<態度>
17.分数の大きさとたし算、ひき算	10	○簡単な場合について大ききの等しい分数があることを知り、大ききの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに基づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(5)ア(イ)(イ)、A(5)イ(イ)(イ)】	・簡単な場合について、大ききの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>	・数を構成する単位に着目し、大ききの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>	・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに基づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていた。<態度>
部屋分けパズル	1	①1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。		・1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。	
算数を使って考えよう	2	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。		・表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見いだし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに基づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていた。<態度>
4年のまとめ	2	①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	・第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		・第4学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●春の始まり	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			【態度】 身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)
1. 天気と気温	7	気温に着目して、それらと天気の様子とを関係付けて、天気の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 天気について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (発言分析・記述分析) 【知・技】 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 (発言分析・記述分析) 【知・技】 生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変わっていくことを理解している。 (発言分析・記述分析)	【思・判・表】 天気について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析) 【思・判・表】 天気について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析)	【態度】 天気についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析) 【態度】 天気について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)
2. 春	7	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析) 【知・技】 春の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析) 【知・技】 春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析)	【思・判・表】 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析)	【態度】 春の身近な動物や植物についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)
3. 電池のはたらき	9	電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらに関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。 (発言分析・記述分析) 【知・技】 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 (発言分析・記述分析) 【知・技】 電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析)	【思・判・表】 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析) 【思・判・表】 電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析)	【態度】 電流の働きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析) 【態度】 電流の働きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析) 【態度】 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)
4. とじこめた空気や水	6	体積や押し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 空気の性質について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析) 【知・技】 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。 (発言分析・記述分析) 【知・技】 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 (発言分析・記述分析)	【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析) 【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (発言分析・記述分析)	【態度】 空気の性質についての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析) 【態度】 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)
●夏	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析) 【知・技】 夏の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析) 【知・技】 夏の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱わずに調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (行動観察・記録分析)		

● 星の明るさや色	3	星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【思・判・表】 星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【態度】 星の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉	
● 自由研究	2				
● 夏の終わり	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通じて、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【態度】 夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	
5. 雨水のゆくえ	10	水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 雨水の行方と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 自然界の水の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
6. 月と星の位置の変化	8	月や星の位置の変化に着目して、それらに関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 月の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 月の特徴についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 月や星の特徴について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
7. わたしたちの体と運動	9	骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらに関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考察する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 人の体には骨と筋肉があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	【思・判・表】 人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

● 秋	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 秋の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 秋の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 秋の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉		
8. ものの温度と体積	8	体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 空気の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
● 冬の星	2	冬の星に着目して、それらと関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。		【態度】 星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉	
● 冬	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 冬の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
9. もののあたたまり方	8	熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 金属の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
10. すがたを変える水	8	状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水は、温度によって水蒸気に変化することを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、温度によって水に変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 水の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

<p>● 春のおとずれ</p>	<p>1</p>	<p>動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>		<p>【態度】 身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 (行動観察・発言分析・記述分析)</p>
-----------------	----------	---	--	--

教科	音楽	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔導入〕 「ありがとうの花」	〔随時扱 い〕	(1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、友達と表現することの楽しさを感じる。	○曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、友達と表現することの楽しさを感じる。
〔スキルアップ〕 「早口」	〔毎時扱 い〕	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 音楽の面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、輪唱に親しむ。	○「早口」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏の仕方に気を付けて「早口」を歌う技能を身に付けている。	「早口」の旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	音楽の面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
〔スキルアップ〕 早口言葉でラップを 楽しもう！	〔毎時扱 い〕	(1) リズムフレーズのつなげ方や重なり方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、言葉の組み合わせを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 音楽のリズムの面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ボイスアンサンブルに親しむ。	○リズムフレーズのつなげ方や重なり方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○呼吸や発音の仕方に気を付けて「早口」を歌う技能を身に付けている。	リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音楽のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音の面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
〔こぼんのうた みんなのうた〕 「くら くら」 〔共通教材〕 ◎さくらさくら	2	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ○呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌う技能を身に付ける。 ○旋律の反復や変化、もともとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ○歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	○「くら くら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○「くら くら」の旋律の反復や変化、もともとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○「くら くら」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
1 はくとせんりつ	6	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	○曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。
2 ひびきのある リズム	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて思いや意図をもつ。 (3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ミュージカルの音楽に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて思いや意図をもっている。	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。
〔こぼんのうた みんなのうた〕 「まきはの朝」〔共通教材〕	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。
〔音のスケッチ〕 音の動き方を生かしてせんりつをつくらう	2	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、創作的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、旋律やフレーズに親しむ。	○音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、創作的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。
〔めざせ 楽譜名人〕 「ハロー サミング」 「ものけげ」から	毎時	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサンギングの技能を身に付ける。 ○旋律やリズムの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ○高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサンギングの技能を身に付けている。	旋律や音楽の線と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	高い音きれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、いろいろな拍子の音楽に親しむ。

3 曲に合った歌い方	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさを聞き取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさを聞き取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
4 かけ合いと重なり	3	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて。 (2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く(学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く(学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く(学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
「こっぴど(共通教材)」「もじじ(共通教材)」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副歌的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律や音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
5 日本と世界の音楽	6	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 我が国や海外に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や伴奏を聴き取り、声を合わせて演奏する技能を身に付けている。	旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	我が国や海外に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
(音のスケッチ)音階をもとにして音楽をつくらう	2	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付かせるために必要な、発音やリズムを捉えるために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。	○様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付かせるために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	旋律や音階などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
6 パートの役わり	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、声を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) フレーズや音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	○曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や伴奏を聴き、声を合わせて演奏する技能を身に付けている。	フレーズや音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
7 音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて。 (2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲想とその変化を捉えて聴く(学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	○曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、声を合わせて演奏する技能を身に付けている。	音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	曲想とその変化を捉えて聴く(学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
8 思いに合った表現 選択A 器楽	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、声を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、声を合わせて演奏する技能を身に付けている。	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
8 思いに合った表現 選択B 歌唱	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声に合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声に合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。
(音のスケッチ)役わりをもとに音楽をつくらう	3	(1) フレーズなどのつなげ方や重ねる特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付かせるために必要な、発音やリズムを捉えるために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係性に親しむ。	○フレーズなどのつなげ方や重ねる特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付かせるために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係性を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまよまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうしている。

<p>〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から</p>	<p>2</p>	<p>(1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わり気付く。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。 (3) いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。</p>	<p>曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わり気付いている。</p>	<p>音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。</p>	<p>いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
-------------------------------------	----------	--	-------------------------------------	--	---

教科	図画工作	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具のぼうけん、たのしさ発見!	4	<ul style="list-style-type: none"> ○思いがけない形や色をたのしもう。 ○絵の具の新しい使い方を発見しよう。 ○思いがけない形や色をたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感覚がわかっている。 ○身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いがけない形や色などの感覚や面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を発見している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしたりしている。
つけて、のぼして、生まれる形	2	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな形の表し方を工夫しよう。 ○粘土をつけながら、どんな形にしたいか考えよう。 ○粘土の感触を味わいながら、つくすることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土に触れたり動かしたりして、形の感じや変化がわかっている。 ○握る、かき出す、ねじる、積み上げるなど、手や用具を使いながら、いろいろな形の表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土をつけたりのぼしたりしてできた形の感じをもとにイメージを広げ、どのような形にしたいか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○粘土の感触を味わいながら、進んでつくすることをたのしもうとしている。
キラキラワールド	4	<ul style="list-style-type: none"> ○材料を生かした組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料の特徴から表したいことを考えよう。 ○キラキラ紙を使って、絵にすることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キラキラ光る材料を見たり、触れたり、集めたりすることを通して、材料の形や色などの感覚がわかっている。 ○キラキラ光る材料の形や色、質感などを生かして、組み合わせや重なりなどを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キラキラ光る材料の特徴からイメージを広げ、表したいことを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キラキラ光る材料を使って絵に表すことをたのしもうとしている。
かみわざ! 小物入れ	6	<ul style="list-style-type: none"> ○箱のつくり方や組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしい小物入れを考えよう。 ○小物入れをたのしくつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○色厚紙を折ったり、切ったり、箱を組み合わせたつくりながら、形や色などの感覚がわかっている。 ○はさみやカッターナイフについての経験を生かしながら、表したい小物入れのイメージに合わせて箱のつくり方や組み合わせ方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のイメージや形や色などの感覚をもとに、使ってみた小物入れを思いつき、表し方やどのようにつくるかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小物入れをつくることにたのしく取り組もうとしている。
学校もりあげマスコット	4	<ul style="list-style-type: none"> ○マスコットの形や色を工夫しよう。 ○場所や物から、マスコットを考えよう。 ○マスコットをつくって飾ったのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マスコットを描くことを通じて、形や色などの感覚がわかっている。 ○表したいマスコットに合わせた形や色の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の場所やものからイメージを広げ、想像したことから、どのようにマスコットに表すかについて考えている。
絵から聞こえる音	4	<ul style="list-style-type: none"> ○感じた音を表す形や色の組み合わせ方を工夫しよう。 ○感じた音から、形や色で表すことを考えよう。 ○互いの感じ方の違いを味わったり、たのしんだりしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の感覚で絵を見ることを通じて、音を表す形や色などの感覚がわかっている。 ○自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の感じた音のイメージをもとに、自分の見方や考え方を広げながら形や色で表すことを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの感じ方の違いやよさを味わったり、たのしんだりしようとしている。
つくって、つかって、たのしんで	8	<ul style="list-style-type: none"> ○板の切り方や切った板の組み合わせ方を工夫しよう。 ○使ってたのしいものを考えよう。 ○作品をつくってたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたつくりながら、形や色やその組み合わせの感覚がわかっている。 ○のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板の形や組み合わせの感覚をもとに、自分のイメージを広げ、使ってたのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○つくることや、つくったものを使うことをたのしもうとしている。
ほって表す不思議な花	8	<ul style="list-style-type: none"> ○彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や彫り方を工夫しよう。 ○表したい花を考えよう。 ○彫って飾ることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○彫ったり削ったりすることを通して、形や色などの感覚がわかっている。 ○彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や彫り方を試しながら工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○彫りでできる形や彫りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて彫ったりすることをたのしもうとしている。
飛び出すハッピーカード	6	<ul style="list-style-type: none"> ○飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 ○贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 ○カードで気持ちを伝えることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。 ○贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○贈る相手のことを思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。
ゆめいろらぶ	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ランプの材料や色の組み合わせ方を工夫しよう。 ○光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。 ○ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通じて、材料の形や色の特徴や感覚がわかっている。 ○用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけて、表し方について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。
どろどろカッチン	6	<ul style="list-style-type: none"> ○布の形や固め方を工夫しよう。 ○布が固まった形から、表したいことを考えよう。 ○液体粘土の感触を味わおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○布や芯材に触れたりしながら、形などの感覚がわかっている。 ○布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものを思いつき、どのように表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○液体粘土の感触を味わいながら活動に取り組もうとしている。

わくわくネイチャーランド	2	<p>○場所に合った活動を工夫しよう。 ○自然の場所を生かしてたのしい遊び場を考えよう。 ○友達と協力してたのしく活動しよう。</p>	<p>○活動を通して、活動場所にある自然のもの の形や色、場所の感じがわかっている。 ○見たり、触れたり、動いたりしながら、広 さや起伏など活動する場所の特徴や、自然 材料の形や色などの感じを生かして活動を 工夫してつくっている。</p>	<p>○自然の場所の特徴を生かして、自分のイ メージをもったり友達とイメージを共有したり して、活動を思いついたり、変化させたりし ながらどのように活動するかを考えている。</p>	<p>○身近な場所や自然材料に関心をもち、自 分の思いを追求したり、友達と協力したりし て、たのしく活動しようとしている。</p>
--------------	---	---	--	---	---

教科 体育 学年 第4学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほくしの運動	3	いろいろな体ほくしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほくしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達との心と体の状態に気づいたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせた上で、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほくしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
多様な動きをつくる運動	6	体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、産る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのり足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 オ)基本的な動きを組み合わせた運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせた上で、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
マット運動	6	自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(登り立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転(発展技:開脚前転) ○開脚前転(発展技:伸脚後転) ○補助倒立ブリッジ(発展技:倒立ブリッジ) ○側方倒立回転(発展技:ワンダー) ○首はね起き(発展技:頭はね起き) ○頭倒立	・学習カード、指示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見つけたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や技をする前の持ち方、技を観察するときのきまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気づいたことなどを伝え合ったり、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、技技の開始前の安全を確かめている。
鉄棒運動	6	鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り(発展技:前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技:前方支持回転) ○転前下り(発展技:片足踏み越し下り) ○懸け降り上り(発展技:懸掛け上り) ○前方片懸掛け回転 ○補助逆上がり(発展技:逆上がり) ○かかえ込み後回り(発展技:後方支持回転) ○後方片懸掛け回転 ○両脚掛け倒立下り	・学習カード、指示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見つけたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や技をする前の持ち方、技を観察するときのきまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気づいたことなどを伝え合ったり、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、技技の開始前の安全を確かめている。
跳び箱運動	8	自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に取組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転(発展技:伸脚台上前転) ○首はね跳び(発展技:頭はね跳び)	・学習カード、指示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見つけたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や技をする前の持ち方、技を観察するときのきまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気づいたことなどを伝え合ったり、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、技技の開始前の安全を確かめている。
かけっこ・リレー	6	いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を見合ったり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・「かけっこ・リレー」をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
小型ハードル走	6	いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の区間に走られた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。	・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を見合ったり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・小型ハードル走の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
走り高跳び	5	短い助走から強く踏み切った跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～6歩程度のリズムから強い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。	・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競走の仕方について考え、競走の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

<p>ボール投げ</p>	<p>1</p>	<p>・いろいろな場でボールを投げて、ボールを遠くに投げる。</p>	<p>・ボール投げの行い方がわかる。 ・投げる手と反対の足を踏み出して体重移動をスムーズに行い、腕を大きく振ってボールを遠くまで投げることができる。</p>	<p>・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。</p>	<p>・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりする際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。</p>
<p>水泳運動</p>	<p>8</p>	<p>・いろいろな泳ぎ方でもり方、簡単なクロールや平泳ぎをする。</p>	<p>【浮いて進む運動】 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し泳ぎの姿勢で泳いで進むことができる。 ・プールの底や両足を蹴った勢いを利用して進む泳ぎができる。 ・補助員を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を動かして進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる泳ぎ、簡単なクロールや平泳ぎなど、頭の上方に顔を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・泳ぐ運動】 ・もぐる・泳ぐ運動の行い方がわかる。 ・呼吸を整えながらプールの底にタッチ、戻くり、変身もぐりなどのいろいろな泳ぎ方がある。 ・補助員を使って浮力を生かしたいろいろな泳ぎ方をすることができる。 ・大きな息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で泳ぐことができる。 ・だるま浮きやポンピングなどを活用した簡単な泳ぎをすることができる。</p>	<p>・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助員を活用したり、友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達の良い動きや、課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えられている。 ・自分で試しいろいろなもぐり方や泳ぎ方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。</p>	<p>・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・けずりをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励み合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助を合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・泳ぎ運動や水泳運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する。シワワを浴びてからゆくりと水の中に入る。プールに飛び込みなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。</p>
<p>ゴール型(フライングフットボール)</p>	<p>7</p>	<p>・作戦を基に攻め方を工夫して、フライングフットボールをする。</p>	<p>・フライングフットボールの行い方がわかる。 ・前列にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に居る者がいない空間に移動することができる。</p>	<p>・誰もが楽しくフライングフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の線や制限などの規則を工夫している。 ・フライングを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えられている。</p>	<p>・フライングフットボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>ベースボール型(ティーボール)</p>	<p>6</p>	<p>・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトしたりして、ティーボールをする。</p>	<p>・ティーボールの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手、両手でキャッチしたり、パスを出したり、打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げることができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、投げることができる。</p>	<p>・誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の線や制限などの規則を工夫している。 ・ボールを打つための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えられている。</p>	<p>・ティーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>ネット型(キャッチボール)</p>	<p>6</p>	<p>・みんなで観て、落とすための工夫をして、キャッチボールをする。</p>	<p>・キャッチボールの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手、両手でキャッチしたり、パスを出したり、わらったとこに打ったりすることができる。 ・相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。</p>	<p>・誰もが楽しくキャッチボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の線や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えられている。</p>	<p>・キャッチボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>ゴール型(グリッドサッカー)</p>	<p>8</p>	<p>・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。</p>	<p>・グリッドサッカーの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に居る者がいない空間に移動することができる。</p>	<p>・誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の線や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えられている。</p>	<p>・グリッドサッカーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p>
<p>表現・ジャングル探検に出発!</p>	<p>6</p>	<p>・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを語る。</p>	<p>・表現「ジャングル探検に出発!」の行い方がわかる。 ・表現「ジャングル探検に出発!」ならではのふざけたい動き(草むらや隠れ扉を開く、折れそう橋を渡るなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発!」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、動き一つ、言葉一つ、急に止まるなど動きと差をつけて表現したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に語るすることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの真なる動きや息を吐く場面など変化のある動きをつけてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めたりすることができる。</p>	<p>・表現「ジャングル探検に出発!」の動きのポイントがわかり、楽しく語るための自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発!」におけるよい動きがわかり、友達の良い動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫した動きを一緒に語るなどして伝えられている。</p>	<p>・表現「ジャングル探検に出発!」に進んで取り組んでいる。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽し(語るための)友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて語っている。</p>
<p>リズムダンス</p>	<p>6</p>	<p>・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。</p>	<p>・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックやサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2〜3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。</p>	<p>・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく語るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達の良い動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫した動きを一緒に語るなどして伝えられている。</p>	<p>・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽し(語るための)友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて語っている。</p>
<p>変化していく体</p>	<p>2</p>	<p>・体は、年齢とともに発育し、変化すること。発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心をもち、肯定的に捉えることができるようになる。</p>	<p>・体は年齢とともに発育、変化することがわかる。 ・身体は年齢とともに伸びるのではないこと、とどろいて伸びるが、どのように伸びるかは一人一人違うことがわかる。 ・体重の増え方も人によって違うことがわかる。 ・発育の仕方には個人差があることがわかる。</p>	<p>・身長伸びることは毎年違うことを、記録することから見付けている。 ・「小さいころと比べて今の自分が大きくなったこと、身長伸びる以外のことから説明している。 ・身長伸びることに個人差があることを6人の身長伸び方から読み取り、気づいたことを説明している。</p>	<p>・体の発育に関心をもち、自己の発育について確かめようとしている。 ・発育の仕方には個人差があることをおさたうえて、自分のおさたうえての発育に希望や期待をもとうとしている。</p>

思春期の体の変化 ①体の外にあらわれる変化	2	<p>・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。</p> <p>・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。</p> <p>・思春期の体の変化に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。</p>	<p>・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることがわかる。</p> <p>・思春期には体つきが変わるほかに、変声、発毛が起こることがわかる。</p> <p>・体の変化が始まる時期や、変化の現れ方には個人差があること、これらは大人の体に近づく現象であることがわかる。</p>	<p>・1年生のころの写真と大人の写真から、大人に近づくにつれて男女の体つきにはどんな違いが現れてくるのかを考え、発表している。</p> <p>・思春期に起こる体の外的変化にはどのようなものがあるのか、調べ、説明している。</p> <p>・思春期に起こる体の変化について、自分の成長と結び付けて考えようとしている。</p>	<p>・思春期に起こる体の変化の学習に関心をもちようとしている。</p> <p>・思春期に起こる体の変化について、自己の変化を他者と比べて不安になることなく、自分や友達に理解ある態度で接する心構えをもちようとしている。</p>
思春期の体の変化② 体の中にあられる変化	2	<p>・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。</p> <p>・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。</p> <p>・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・思春期には体つきが変わるほかに、初経・精通が起こることがわかる。</p> <p>・初経・精通が起こる時期は個人差があることがわかる。</p> <p>・初経・精通は、大人の体に近づき、新しい生命を生み出す準備が始まっていることがわかる。</p> <p>・思春期になると男女の性の違いに気づきやすくなり、異性のことが気になり、好きになたりする思いが強まる一方で、反発し合うこともある。これらの心の変化は自然なことであること、変化のしかたは人によって違うことがわかる。</p>	<p>・思春期には、体の中でどのような変化が起こるのかを調べ、変化が起こるしくみを説明している。</p> <p>・思春期の心の変化について小さいころと比べて違いを説明している。</p>	<p>・思春期に起こる体の中の変化に関心をもち、自分や友達の体の変化、あるいは異性の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもちようとしている。</p> <p>・思春期の心の変化を、変化しない場合も含めて、自然なこととして受け入れている。</p>
よりよい発育のために	2	<p>・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような形に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。</p> <p>・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。</p>	<p>・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達にいい運動、多くの種類の食品をとることができようバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることがわかる。</p> <p>・運動は、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されることがわかる。</p> <p>・食事については、特に、体をつくる基になるたんぱく質、不足しがちなカルシウム、不可欠なビタミンなどを摂取する必要があることがわかる。</p> <p>・十分な休養・睡眠をとることは、体と心の疲れをとるだけでなく、体の発育にも関係があることがわかる。</p>	<p>・無理なく、毎日続けられる運動にはどんなものがあるのかを考え、自分に合った無理のない運動をいくつか見付けている。</p> <p>・適切な運動を毎日続けていると体にどんな効果があるのかを調べて、説明している。</p> <p>・よりよい発育のために、どんな食品を食べるのがよいのかを調べて、発表している。</p> <p>・バランスのよい食事するために、どんな食品をとったらよいのかを考え、他者に伝えている。</p> <p>・よりよい発育と、休養・睡眠の関係について考え、説明している。</p>	<p>・毎日無理なくできる運動に興味をもって探し、実施しようとしている。</p> <p>・食事のとりに関心をもち、多くの種類の食品をバランスよく食べることを心がけようとしている。</p> <p>・発育と睡眠の関係に関心をもち、よい睡眠をとれるよう心がけようとしている。</p>

教科	外国語活動	学年	第4学年
----	-------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	2	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。 ○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しんでいる。	○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとしている。
Unit2 Let's play cards. 好きな遊びをつたえよう	4	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 ○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しんでいる。	○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとしている。
Unit3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	3	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとしている。
Unit4 What time is it? 今、何時?	4	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ○自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋ね方に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとしている。
Unit5 Do you have apen? おすすめの文房具セットをつくろう	4	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとしている。
Unit6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	4	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○身の回りにはアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 ○相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しんでいる。	○身の回りにはアルファベットの文字クイズを出したり答えたりしている。	○相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとしている。
Unit7 What do you want? ほしいものは何かな?	5	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 ○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しんでいる。	○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合っている。	○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。
Unit8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう	4	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しむ。 ○自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 ○相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親しんでいる。	○自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりしている。	○相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとしている。
Unit9 This is my day. ぼく・わたしの一日	5	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く、日課を表す表現に慣れ親しむ。 ○絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。 ○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く、日課を表す表現に慣れ親しんでいる。	○絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりしている。	○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第4学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
障害理解教育 「共に生きる」	35	はこべ学級との交流や、障害のある方の話を聞き、障害についての正しい認識を深めることができる。	○障害のある方の思いや願いを知ることにより、相手の身になって温かく接し、行動できる大切さを理解している。	○視覚障害のある方と交流したり、調べたりして得た情報を基に、パンフレットやポスターに載せたい内容について、分類しながら整理している。	○視覚障害のある方との交流を通して、自分の生活についてじっくり考え、自分に何ができるかを考えて進んで関わろうとしている。

教科	特別活動	学年	第4学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
運動会を成功させよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (夏休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る (冬休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
委員会活動の準備をしよう	1	高学年への自覚をもち、委員会活動における自己の役割を自覚して、協働することの意義を理解し、よりよい学校生活するために必要となることについて主体的に考えて行動する。	高学年への自覚をもち、自己の役割を自覚し、自己の良さを生かしながら、よりよい学校生活するために必要な知識や行動の仕方を理解している。	高学年への自覚をもち、よりよい委員会活動にするための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、創意工夫を発揮したり、他者と協力したりして実践している。	高学年への自覚をもち、よりよい学校生活にするために、それぞれの委員会に応じた計画を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して、主体的に行動しようとしている。
すてきな5年生を目指そう (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

	読書科	学年	第4学年
--	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ピブリオバトルをしよう 調べる名人になろう	12	○ピブリオバトルを楽しむとともに、友人からの薦めによる読書の広がりをもつことができる。 ○疑問解決のために、図書資料から情報を収集することができる。	○本の内容や要旨を捉え、その本の魅力をまとめる力を身に付けている。 ○日本十進分類法に図書館の本が並んでいることを理解している。	○自己の読書をふりかえり、本のおもしろさやよさについて積極的に自分の意見をまとめ、クラス全体に伝えている。 ○疑問を解決するために記録したカードを使って、必要な情報を分類している。	○進んで本を読み、紹介しようとしている。 ○疑問を解決するために探した本を進んで読んでいる。
読書発表会をしよう ふしぎ図かんを作ろう	15	○複数の本をまとめて紹介するブックトークの活動を通して、読書の世界を豊かにすることができる。 ○身近なことから不思議に思ったことを図書資料の中から探し、みんなに伝えることができる。	○本を複数選び、比べて読んで、相互に関連付けてブックトークの構成を考えている。 ○疑問の解決のために図書館の資料から必要な情報を正確に書き抜いたり、短い言葉や文で表したりしている。	○テーマに合わせて紹介するために、いろいろな本を選んで読んでいる。 ○身近な生活と結び付けて、調べたいことを見つけている。	○紹介したい本を数冊選び、すすんで「読書発表会」をしようとしている。 ○疑問解決のために探した本を進んで読んでいる。
ユニバーサルデザインに関する本を読もう 1年間の自分の読書を振り返ろう	8	○十進分類法を基に、1年間の読書傾向を振り返り、次年度の学習に生かすことができる。	○自己の読書傾向を十進分類法を基にして振り返ることができる。	○読書傾向や読書生活のふり返しから、読みたい本を見つけている。	○読書傾向や読書生活を振り返り、読書の良さが分かり進んで本を読もうとしている。